

特別展

立山カルデラと深層崩壊

観覧
無料



■日時:10月5日(土)~12月1日(日)

■場所:企画展示室

立山カルデラは大規模な火山活動に起因した陥没地形ではなく、火山堆積物の脆弱な山体が浸食によって失われた侵食地形であると考えられています。その形成の主要因は、温帯の山地において普遍的に発生しているような降雨・融雪に伴う小から中規模の崩壊や谷の下刻侵食というよりはむしろ、1858年の安政飛越地震によって発生した鳶崩れやそれ以前から繰り返されてきた「巨大深層崩壊」にあると考えられます。更にその素因は、後火山作用に伴う岩盤の変質劣化や、より古い熱水変質帯、そしてカルデラ内で発見された活断層(跡津川断層系湯川谷断層)の繰り返し活動によるためと推定されます。

本展ではその根拠とした、立山カルデラ内の崩壊地形およびその堆積物に関するこれまでの調査・研究成果などについて紹介します。

フィールドウォッチング

「秋の有峰と常願寺川砂防探訪」

参加
募集

■日時:10月20日(日)

8:00~17:00

■定員:20名(先着順)

■参加費:¥1000円(小学生500円)

■対象:小学3年以上(小学生は保護者同伴)



紅葉の有峰で自然に接し、跡津川断層や常願寺川下流施設等を学芸員が同行解説します。

- 要申し込み(先着順)申し込み受付は、各実施日の1ヶ月前から行います。
- 電話にてお申し込みください。TEL:076-481-1363(学芸課)

